

平成30年度 第2回 全国手をつなぐ育成会 連合会 政策センター会議が開催されました

理事長 小泉 いと子

1月11日(金)にアットビジネスセンター横浜西口駅前で、平成30年度の第2回政策センター会議が開催され出席してきました。

全国連合会では全国組織である特性を活かし、各市町村の実態を含めて厚生労働省や文部科学省をはじめとした省庁に対し、施策に対する意見や予算要望を行っています。そこで、政策センターでは全国の市町村での福祉施策の充実に向け、国の動向も含めた情報提供の土台作りをしています。

今回の会議では、まず、12月に2019年度予算案が出たことを受け、今後の見通しの説明が田中統括からありました。全国連合会では昨年5月に全国の都道府県・政令市の55会員に国の施策に関するアンケート調査を行い、各地からの回答を再編成して国(厚生労働省・文部科学省)に要望書の提出をしています。例年、年度始めに各都道府県・政令市育成会宛にアンケート調査をしておりますが、調査期間も短いため各市町村育成会からのご意見もなかなか聞くことができないため、今回は2月から3月くらいにアンケート調査を実施し、4月に全国連合会で取りまとめて5月に要望書の提出をしたいとありました。

次に政策センターでは、全国各地の市町村の福祉施策の充実を図るため、「地域資源開発協働推進ハンドブック」を作成しています。その内容は各市町村の育成会で地域生活支援体制の整備がどの程度のレベルかということを変更して確認し、地元には足りない施策やサービスを行政担当者や相談支援事業所等が共有できるような構成になっています。こちらは3月に行われる育成会フォーラムで配布されるという事ですので、3月以降に会員向け学習会等で皆さんにご紹介をしたいと思います。

育成会では、障がいのある人が地域で当たり前の生活ができるように取り組んでいますが、ご家族でも現在利用している福祉サービス以外のサービスをご存知ない方も多という事です。全国連合会では、昨年

12月に「あたらしいほうりつの本(改訂版)」を発行しました。福祉サービスを利用している・していないに関わらず30年4月の制度見直しも含めた現行制度について理解を深めていただきたいと思います。



事業所さん紹介(7)

社会福祉法人 大淀福祉会

◆事業所の紹介・特長

昭和56年に保護者の方々によって開設された大阪市北区の「生活介護 おおよど」は、この度、31年間お世話になった旧所在地より徒歩10分の場所へ移転し、本年2月1日より定員20名として新しい事業所でオープンしました。(新しい事業所前で)



「おおよど」では、軽作業もあり、お給料で行く年1回の旅行を楽しみにしながら作業をしています。毎月の行事として、調理実習、地域清掃を行い、日々、昼食後に公園へ出かけウォーキングやダンス体操を取り入れ、健康管理の指導に取り組んでいます。バザーやふれあい喫茶等に参加し、地域の方々とのかかわりを大切にしています。近隣にはたくさんの公園もあり、環境に恵まれ、小人数ながらとても温かいアットホームな「おおよど」です。

また、共同生活援助「ムーンストーン21」では、利用者の半数が就労、半数が「おおよど」へ通所されています。個々に合った支援となるよう、楽しく生活を送っていただけるよう取り組んでいます。就労されている利用者とは月1回、ミーティングを行い情報交換や交流を図っています。(日帰り旅行にて)



◆支援員さんが大切にしていること(モットー)

利用者みなさんに寄り添い、一人ひとりの個性、